

赤松良子展

男女雇用機会均等法から40年



令和7年3月20日(木・祝)～令和7年9月23日(火・祝)

会場 ▶ 国立女性教育会館 女性アーカイブセンター展示室(本館1F)

開室時間 ▶ 9:00～17:00 休館日 <https://www.nwec.go.jp/about/use.html>

入場無料

主催：独立行政法人国立女性教育会館

協力：津田塾大学津田梅子資料室、公益財団法人21世紀職業財団、国際女性の地位協会、文京学院大学、一般財団法人WIN WIN (Women In New World, International Network)、一般財団法人女性労働協会、クオータ制を推進する会(略称:Qの会)



赤松良子展

男女雇用機会均等法から40年

赤松良子氏は1929年大阪に生まれ、津田塾専門学校を経て1953年東京大学法学部を卒業、同年、労働省に入省しました。1978年総理府婦人問題担当室長を経て、1979年国際連合日本政府代表部公使に就任、女性差別撤廃条約に賛成の投票を行いました。同条約に署名したことで日本は批准に向け国内法整備が課題となります。1982年労働省婦人少年局長に就任し、課題の一つ、男女雇用機会均等法の成立に向け尽力し、「均等法の母」と呼ばれました。

その後、女性職業財団(現21世紀職業財団)会長、国際女性の地位協会会長、文京女子大学(現文京学院大学)教授などを務め、1993年には文部大臣に就任します。1999年、政治分野への進出をめざす女性を支援するネットワーク「WIN WIN」を設立、代表となりました。2008年、初の女性会長として日本ユニセフ協会会長に就任、2024年亡くなるまで務めました。2012年6月には、女性議員を増やすための制度面における条件整備の推進を目的とした「クオータ制を推進する会(略称:Qの会)」が発足、代表を務めました。

男女雇用機会均等法制定から40年となる2025年、赤松氏の歩みとともに、男女共同参画実現のための課題解決について考えます。

展示資料例



国連のフェローシップで渡米した際の公用パスポート(1963)



男女雇用機会均等法成立を記念して山口敏夫労働大臣(当時)から贈られた時計(1985)



女性差別撤廃条約採択20周年記念シンポジウムにてイヴァンカ・コルティ女性差別撤廃委員会委員と(1999)

交通のご案内



電車では
 会館最寄駅、武蔵嵐山駅は池袋駅から東武東上線下り急行に乗り約60分、徒歩約12分。
■タクシー利用の場合
 武蔵嵐山駅から約5分。
 森林公園駅、小川町駅から約15分。
 ※東京メトロ有楽町線、副都心線と光市駅から東武東上線に乗り換えができます。また、相互乗り入れを行っています。

自動車では
 関越自動車道線馬山ICからの場合、東松山IC。(所要時間約35分)で降り、国道254号線を西に15分、新溝方面からは嵐山小川ICで降り、国道254号線を東に15分。

独立行政法人 国立女性教育会館
 〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728
<https://www.nwec.go.jp> Tel : 0493-62-6195 Mail : infodiv@ml.nwec.go.jp

